まつやまさいくるかん

まつやまRe・再来館

まつやまRe・再来館（通称：りっくる）は、環境啓発の拠点として、3Rや自然環境に関する講座やイベントを開催するほか、環境保全に関する展示やリユース家具の販売などを行っている。また、フライブルク市の環境啓発施設「エコステーション」と交流を図っており、その一環で施設内にはハーブ園を整備している。大人から子どもまで楽しみながら環境について学べる施設として市民に親しまれている。

DATA ☎089-968-7153 営9時30分～18時 休火曜日（祝日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日 Pあり

地図 P29B4

だいりんじ

大林寺

地図 P29C2

松平の殿様と奥方たちの御霊が眠る

松山藩二代目城主・蒲生忠知が建立した禅寺を、三代目城主・松平定行が浄土宗大林寺と改め、松平家の菩提寺とした。松山城の天守閣からいつでも阿弥陀様を拝めるように本堂は東向きに建てられていたという。明治には松山最初のロシア兵捕虜収容所としても使用された。寺の梵鐘は県指定文化財。

DATA 住松山市味酒町2-14-6 ☎089-941-9761 交伊予鉄道古町駅から徒歩3分 Pあり

こうしんあんしせきていえん

庚申庵史跡庭園

街の喧騒を離れ、静かに花と句を楽しむ

地図 P29C2

庚申庵は、江戸時代の伊予を代表する俳人で、小林一茶とも親交の深かった栗田樗堂（くりたちょどう）が52歳の時、市中の隠を楽しむために結んだ庵。庵とその周辺の庭園の一部は県指定史跡。復元・整備を行い、平成15年以降、「庚申庵史跡庭園」として一般開放されている。樹齢200年を超える見事なノダフジがあり、見頃は4月下旬頃。春のシダレザクラや秋の七草など四季折々の風情が楽しめるイベントが催される。

庚申庵史跡庭園へは、伊予鉄線路沿いのカラーラインをたどって行くことができます。

DATA
住松山市味酒町2-6-7
☎089-915-2204
交電停宮田町から徒歩4分
営10～18時（季節により変動）
休水曜（祝日の場合は翌日）、12月28日～翌年1月4日 Pなし

まつやまそうごうこうえん

松山総合公園

地図 P29A2

見晴らし抜群、子どもからお年寄りまでが集う憩いの広場

山全体がすべて公園となっている。花と緑にあふれた気持ちのよい散歩コースには、松山市の花・椿を約500種類集めた「椿園」、傾斜を利用して作られた大型遊具が人気の「坊ちゃん夢ランド」、松山城と市街地を一望できる展望塔のある「展望広場」、犬と人が交流できる「ドッグラン」など、さまざまな広場がつくられている。東に松山城、西には伊予灘を望み、気持ちの良い風が吹く中、一日中楽しめる公園。

DATA 住松山市朝日ヶ丘1-1633-2 ☎089-923-9439 交松山市駅からバスで12分、松山総合公園前下車徒歩5分で東入口 営9～17時（季節により変動） Pあり

たいほうじ

大宝寺

地図 P29B3

国宝の本堂と伝説のうば桜

大宝元年（701）の開基とされる。国宝の本堂は建築様式から鎌倉前期のものと見られ、県下では最古の木造建造物。春には、自らの命と引き換えに、姫様の病気治療を薬師如来に祈願した、乳母の遺言で植えられたという「うば桜」が花をつける。

DATA 住松山市南江戸5-10-1 ☎089-922-6837 交JR松山駅前からバスで9分、大宝寺口下車徒歩3分 Pあり

緑したたる自然と文化財が魅力

松山総合公園 サブセンターゾーン

拠点となる松山総合公園は、
季節の花と緑、そして眺望に恵まれた市民の憩いの場です。
「自然」「歴史」「環境」をテーマとした教育・学習施設や
藤の名所庚申庵やうば桜で知られる大宝寺なども。

（注）開館日時は、イベント開催や祝日等により変更される場合がありますので、各施設までお問い合わせください。
なお、料金につきましても同様にお問い合わせください。

まつやましこうこかん・まいぞうぶんかざいせんたー

松山市考古館・埋蔵文化財センター

地図 P29A3

古代史のロマンにひたる

松山市内で発掘された埋蔵文化財を保存し、そのうち約600点を常設展示している。実物をモデルにした土器パズルを組み立てたり、クイズ形式で学んだりと「見る」「触れる」「考える」展示がコンセプト。特別展や発掘速報展、文化財講座、出前講座なども開催。玄関前には古代ハスが育てられており、毎年初夏の開花が待ち望まれている。

大連古代ハス

DATA
住松山市南斎院町乙67-6 ☎089-923-8777
交JR松山駅前からバスで10分、丸山下車徒歩10分
営9～17時（入館は16時30分まで） 休月曜（祝日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日
Pあり（松山総合公園第4駐車場利用）

街角のお宝 ここも見逃せない

しきのひ（じょうあーるまつやまえきまえ）

子規の句碑（JR松山駅前）「春や昔十五万石の城下哉」

明治28年に子規が日清戦争の従軍記者として戦地に赴く直前の句である。松山を象徴的にあらわす子規の代表句。

地図 P29C3

へきごとうのはく（ぼうとうじ）

碧梧桐の墓（宝塔寺）

昭和12年東京で永眠した碧梧桐は、父母の眠る宝塔寺墓地に埋葬された。墓碑にある「碧梧桐墓」の四文字は碧梧桐晩年の自筆。碧梧桐独特の力強い筆跡で、当時の自由律俳人たちが傾倒していたもの。碧梧桐は友人の中村不折から影響を受けたという。住松山市朝日ヶ丘1114-24 ☎089-922-6187 交JR松山駅から車で5分 Pあり

地図 P29B2

うんしょうじ

雲祥寺

室町時代に郭室清融和尚が開祖し、江戸時代、加藤嘉明によって勝山から現在地に移された。見事なノダフジがある。日露戦争時にはロシア兵捕虜収容所として使われた。住松山市味酒町2-10-7 ☎089-941-4475 交伊予鉄道古町駅から徒歩5分

地図 P29C2

まるやまぼち

丸山墓地（軍馬慰霊塔）

旧陸軍の墓地があったところ。入り口には軍馬などの慰霊塔、小高い丘の上には愛媛県の戦没者慰霊塔がある。慰霊塔の近くに将校の墓地がある。住松山市北斎院町25番地外 ☎089-912-2434（愛媛県長寿介護課） 交JR松山駅前からバスで10分、丸山下車徒歩3分

地図 P29A3